

バドミントン競技実施要項

1. 主催 熊本高等専門学校（八代キャンパス）
九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟
2. 主管 九州沖縄地区国立高等専門学校体育連盟バドミントン競技専門部
熊本県バドミントン協会、八代市バドミントン協会
3. 後援 熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、八代市、八代市教育委員会、熊本日日新聞社、RKK、TKU、KKT、KAB
4. 期日 令和4年7月1日(金)・2日(土)・3日(日)
5. 会場 八代トヨオカ地建アリーナ（八代市総合体育館） 熊本県八代市緑町11-1
6. チーム人員 男女とも監督・コーチ・マネージャー各1名及び選手各8名以内とする。
7. 競技規則 2022年度（公財）日本バドミントン協会競技規則による。
8. 使用シャトル・使用器具 2022年度(公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び第1種検定合格水鳥球（ニューオフィシャル：YONEX）を使用する。

9. 競技方法

I 団体戦の部

- (1) 男女出場校によるトーナメント方式で行う。
- (2) 2021年度全国高専大会（岩手）の成績を元に第2シードまで行う。
- (3) チーム編成は4名～8名とする。
- (4) 試合の形式は、1複2単（複，単，単）とし、同一選手の単・複の重複は認めない。
- (5) 団体戦の勝敗が決した場合、それ以降の試合は打ち切りとする場合がある。
- (6) 全国大会出場校を決定させるため、出場決定戦を行う場合がある。

II 個人戦の部

[1] 男子の部

- (1) 1校につき、単6名以内、複3組以内によるトーナメント方式で行う。
- (2) シードは、2021年度全国高専大会（岩手）の成績を元に第2シードまで行う。必要に応じて2021年度全国高専大会（岩手）の成績を元にベスト4までを順次繰り上げる。（ただし、順位を決定させる必要がある場合は、第1位に負けた方を第3位、第2位に負けた方を第4位とする。）

[2] 女子の部

- (1) 1校につき、単4名以内、複2組以内によるトーナメント方式で行う。
- (2) シードは、2021年度全国高専大会（岩手）の成績を元に第2シードまで行う。必要に応じて2021年度全国高専大会（岩手）の成績を元にベスト4までを順次繰り上げる。（ただし、順位を決定させる必要がある場合は、第1位に負けた方を第3位、第2位に負けた方を第4位とする。）
- (3) 全国大会出場者を決定させるため、出場決定戦を行う場合がある。

10. 注意事項・その他

- (1) 男女団体戦及び男女個人戦の組み合わせは監督会議で決定する。その際、エントリーは事前に提出されたシード用紙に従う。
- (2) 団体戦及び個人戦とも第3位まで表彰する。
- (3) 服装
 - ア 競技時の服装（ユニフォーム）は、色つき着衣を使用する場合は（公財）日本バドミントン協会審査合格品とする。

イ 選手の上衣の背面中央に縦 15 cm、横 30 cm程度の大きさで、学校名と選手の姓又は都道府県名と学校名が明瞭に区別できる配色で明示する。

ウ 開会式、閉会式に参加するときの服装は、競技時の服装（ユニフォーム）又は、トレーニングウェアとする。

- (4) 大会の運営進行を円滑に行わせるため、個人戦の一部を簡易ルールで行う場合がある。
- (5) 競技進行状況により、試合開始時刻或いはコートを変更する場合がある。
- (6) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的には利用しない。
- (7) 別紙「第59回（令和4年度）九州沖縄地区高専体育大会バドミントン競技における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を遵守すること。

また、大会会場の新型コロナウイルス感染拡大防止対策方針に従い、感染拡大防止に最善を尽くすこと。

第59回（令和4年度）九州沖縄地区高専体育大会バドミントン競技における
新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

1. 大会関係者について

大会関係者（大会に関わる人）は、選手・監督・コーチに加え、その他学生、大会スタッフを対象とする。

- ・ 選手及び指導者、大会スタッフ等の関係者の総数を想定して感染症拡大防止対策を検討する。
- ・ 大会スタッフ等の体調確認を行う。
運営に関わる全てのスタッフの検温を実施し、書類（別紙1）による体調の確認を行う。
- ・ 大会関係者は、常時マスクを着用する。水分補給を促し、熱中症対策も講じる。
- ・ 大会実施にあたっては、（別紙2）当日に関する確認事項（大会関係者向け）により確認を行う。

2. 会場内に関する確認事項

（1）会場出入口等

- ・ 運営上支障のない範囲でドアを常時開放する（換気とドアへの接触を防ぐため）
- ・ 開場時に人数を区切って入場させる（事前に来場時間分けを行うなど来場時間を分散する）
- ・ 下駄箱の利用を禁止する（各自ビニール袋等で自己管理等を行う）
- ・ 密を避けるため、組み合わせやタイムテーブルの貼付は行わない。

（2）トイレ、手洗い場所

- ・ 関係者が触れると考えられる場所（洗面台、ドアノブ等）をこまめに消毒する。
- ・ 洗面所には、石鹼（ポンプ型が望ましい）やアルコール等の手指消毒剤を用意する。
- ・ 手指乾燥機は使用しない。

（3）更衣室、食事・休憩・待機スペース（参加者）

- ・ 更衣室の使用については、施設管理者が定める基準に従い、人数制限・利用方法を定め、シャワーは使用せず、更衣のみとする。
- ・ 食事は、飛沫が発生し感染リスクが高いことから、指定した場所のみで行い、密にならないよう感染拡大防止を徹底する。屋外での食事を推奨する。
- ・ 参加者の待機スペースは、指定した場所とする。
- ・ 定期的な消毒を行う。

（4）大会本部及び関係者控室

- ・ 大会本部の設置は、密を避けるように配置し、適切な運営スペースを確保する。
- ・ 関係者控室は、なるべく多くの部屋を確保し、密を避けるようにする。
ただし、確保が困難な場合は、飛散防止シート等の設置、利用人数の制限を行う。
- ・ 可能な限り常時、窓や扉を開放する。難しい場合は、換気をこまめに行う。
- ・ 運営物品や共用物等は、定期的に消毒を行う。
- ・ 大会会場で体調不良者が発生した際に、隔離待機させる部屋を用意する。
（選手対応として、選手以外の関係者は帰宅させる）

（5）競技会場（競技スペース）及び競技関係用具類等

- ・ 遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う。
- ・ 窓や扉の開放ができない場合は、換気の悪い密閉空間とならないよう十分な換気を行う。
その際は、換気のタイミングや換気時間等を決め、事前に周知する。
なお、常時換気できる設備がある場合は、可能な限り使用する。
- ・ コートサイドには、選手が使用するカゴやドリンクケースを設置しない。
選手は、各自バッグを持参して、飲み物も各自バッグに収容すること。

- ・ 個人戦コーチングシート席は2席とし、使用は必ず消毒する。
- ・ コートのモップ掛けは定期的に行う。
- ・ 毎試合終了後、審判台・サービスジャッジ席・線審席・コーチ席・サービス高測定器・得点板等を消毒する。

(6) 競技関係者及び競技中の確認事項

- ・ 主審、サービスジャッジ、線審、得点係等は、マスク（フェイスシールド）を着用する。また、水分補給を促し、熱中症対策を講じる。
- ・ サービスジャッジ、線審は必要に応じて手袋（ビニール／ゴム）を使用する。
- ・ 選手同士や審判員との握手は行わない。
- ・ トスは、フィジカルディスタンスを確保して行う。
- ・ 飛沫防止対策のためコールは、必要最小限とする。
 - ⇒ 「プレイ」「フォルト」「レット」「ゲーム」等で行う。
 - ⇒ 大会運営上支障のない場合サービスジャッジは、違反の種類を示す指定の合図を行い、コールはしない。
 - ⇒ 大会運営上支障のない場合、線審は、指定の合図を行い、コールをしない。（主審とのアイコンタクトが重要）
 - ⇒ 大会運営上支障のない場合、得点板がある場合は、ポイントのコールをしない。
- ・ シャトルの交換は、選手がシャトルを直接筒から取り出すか、シャトル係が手袋を着用して選手に渡す。シャトルの交換時は、選手が回収ボックスに入れる。

(7) 観客の管理

- ・ 発熱（37.5℃以上）者の入場を禁止する。
- ・ マスクの着用を徹底（マスクが着用できないケースについては個別に対応）し、出入口付近や通路にアルコール等の手指消毒剤を設置する。
- ・ 観客同士が密な状態にならないように、あらかじめ定員を設定し間隔を空けるなど配慮する。
- ・ 一斉に観客の移動が発生し、密になりそうな場合は、主催者の指示に従うこと。
- ・ 応援は、声援を不可とし、拍手や指定した鳴り物に限定し、指定した席で行う。席を移動しての応援や手すりからの応援は控えること。会話をする場合、マスクの着用を励行すること。

(8) ゴミの処理

- ・ 感染症拡大防止の観点から各自持ち帰り自宅で処分すること。
- ・ 大会運営上発生したゴミは、マスク・手袋を着用した上で回収して破棄し、作業後は、必ず手を洗い、手指を消毒する。

3. 参加にあたっての留意事項

大会参加にあたっては、事前に以下の留意事項を確認すること。

参加者の安全を確保するため、これを遵守できない参加者には、大会前・大会中に関わらず参加資格を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。

(1) 次の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。

- 1) 体調がよくない（例：発熱・咳・倦怠感などの症状がある）
- 2) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- 3) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の隔離期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

(2) 参加者の当日の体調を確認し、受付にて別紙1「大会参加関係者健康状態確認シート」を提出する。

(3) マスクの持参・着用

競技を行っていない時や、競技中の競技者以外はマスクを着用すること。

- (4) 手洗い、アルコール等による手指消毒等による日常の感染症予防の実施
- (5) 他の参加者、大会関係者等との距離の確保（できるだけ2m以上）
- (6) 大きな声での会話や応援（声援）の禁止
- (7) 感染防止のために主催者が決めた措置の遵守、主催者の指示に従う
- (8) 参加にあたっては、別表2（当日に関する確認事項（選手向け））を必ず確認すること。

4. その他の留意事項

大会関係者から感染者が発生した場合に備え、個人情報への取扱いに十分注意し、大会当日に大会関係者から提出された書面や大会申込み用紙は、1か月以上は保管するものとする。

大会終了後に、大会関係者から感染症を発症したとの報告があった場合や会場周辺の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針については、開催自治体（保健所・保健センターなど）とあらかじめ検討を行い、保管した書類は、速やかに確認・提出可能な状態にしておく。

別紙 1

大会参加関係者健康状態確認シート

学 校 名	
記 載 代 表 者 氏 名	
住 所	
連 絡 先 (電 話 番 号)	

出場種目 試合番号	氏 名	性別	年齢	当日朝の 検温	37.0℃ 以上の熱	咳 (せき)	のどの痛み	倦怠感	過去14日以内に政府から 観察期間を必要とされて いる国・地域への渡航 又は当該在住者それに 該当する者との濃厚接触
					有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
					有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
					有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
					有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
					有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
					有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
					有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
					有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
					有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
					有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
					有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
					有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
					有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
					有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
					有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

記入日) _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分

- ※ 本用紙を記入するときにはメールや電話などの方法で聞き取りを行い、接触の機会を減らし記入するようにしてください。
- ※ 本用紙で提出していただきました個人情報は本大会以外には使用しません。また、所定の保管期間後には適切に処分いたします。

別紙 2

当日に関する確認事項（大会関係者向け）	
<input type="checkbox"/>	マスクの適切な着用がされている
<input type="checkbox"/>	会場の換気が適切に実施されている（定期的な換気又は窓・ドアの開放）
<input type="checkbox"/>	各所ドアの常時開放（ドアへの接触を防ぐため）
<input type="checkbox"/>	下駄箱の利用禁止（各自ビニール袋で、自己管理）
<input type="checkbox"/>	入場可能者の管理・チェック（特定できない人が入らない様にする）
<input type="checkbox"/>	入場制限（当日周知掲示）
<input type="checkbox"/>	受付担当者はプログラムや関係資料などを受け取ったり手渡したりするため、手袋の着用などが検討されている （受け渡す時に、机にいったん置いたものを受け取ってもらうようにするなどの対応を取る等）
<input type="checkbox"/>	人と人が対面する場所（受付・本部席等）が密にならないような工夫がされている 十分なスペースが確保できない場合は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽されている（定期的な消毒を実施する）
<input type="checkbox"/>	会場内で、咳など体調不良の症状がある人の巡回を行う （必要に応じて検温し、帰宅してもらう）
<input type="checkbox"/>	全てのゴミの持ち帰りの事前周知（場合によってはゴミ箱の撤去をする）
<input type="checkbox"/>	利用者に食事場所が周知されており、遵守されている
<input type="checkbox"/>	役員審判控室や更衣室・洗面所など人数制限を行い、適切に守られている
<input type="checkbox"/>	更衣室・洗面所の利用ルールが守られている
<input type="checkbox"/>	待機位置の目印や案内の設置
<input type="checkbox"/>	選手控え利用場所の観客席などの区画指定、案内がされている
<input type="checkbox"/>	各所に消毒剤が適切に準備・設置されている
<input type="checkbox"/>	施設の定期的な消毒（洗面台・観客席・手すり・机・椅子等）がされている
<input type="checkbox"/>	筆記具・ボード、など共用品の定期的な消毒がされている
<input type="checkbox"/>	毎試合終了後、審判台・サービスジャッジ席・線審席・コーチ席・サービス高測定器・得点板等を消毒のうえ、コートにモップを掛けて退場している

当日に関する確認事項（選手向け）	
<input type="checkbox"/>	外出前に健康状態確認シートに記入する（受付時に提出）
<input type="checkbox"/>	37.5℃以上で、体調に異変を感じた時には参加を中止する（棄権の時は会場に行かず、メール及び電話で伝える）
<input type="checkbox"/>	外履きは袋に入れて自分の手元に置く（下駄箱の使用しない）
<input type="checkbox"/>	観戦は、指定された場所や席、又は距離を空けて行い、席は移動しない
<input type="checkbox"/>	待機時など試合以外はマスク着用する
<input type="checkbox"/>	ウォーミングアップは、距離を空けて行う
<input type="checkbox"/>	コートへの入退場時は一定の距離を保った上で、指定の時間にコートに入る
<input type="checkbox"/>	挨拶の際は十分な距離を取り、審判・選手と握手は行わない
<input type="checkbox"/>	試合中、意図的な声出しを極力しない
<input type="checkbox"/>	コートサイドには各自バッグ等を持参し、飲み物も各自のバッグに收容する
<input type="checkbox"/>	ラケット、タオルの貸借をしない
<input type="checkbox"/>	汗をコート・コートサイドに投げることは絶対にしない
<input type="checkbox"/>	汗拭きはモップもしくは所定の用具を使用し行う
<input type="checkbox"/>	万が一 飲料をこぼしたときにはモップで拭き取る（自身のタオルを使用しない）
<input type="checkbox"/>	シューズの裏を手で拭くことはしない
<input type="checkbox"/>	プレーヤー又はコーチとハイタッチ等を行わない
<input type="checkbox"/>	コーチングは一定の距離を保った上で、必要最小限に短時間で行う
<input type="checkbox"/>	更衣室での密を避けるためにも定員が設定されている場合は遵守する
<input type="checkbox"/>	更衣室の利用については、施設管理者や大会主催者が定める基準に従い、人数制限・利用方法を定める
<input type="checkbox"/>	施設にある手指乾燥機は使用しない
<input type="checkbox"/>	全てのゴミを持ち帰り自宅で処分する（感染症拡散防止の観点から）

※ 感染症対策を遵守し、37.5℃以上あるなど体温に異常がみられる場合や、体調が優れない場合には大会会場へ行かずに棄権してください。
クラスターを発生させないことが、最優先です。